

令和3年度 向の岡工業高等学校 不祥事ゼロプログラム

令和3年6月

向の岡工業高等学校

向の岡工業高等学校は、不祥事の未然防止を図るため、「教育委員会不祥事ゼロプログラム作成方針」に基づき、次のとおり、「向の岡工業高等学校不祥事ゼロプログラム」（以下、「不祥事ゼロプログラム」という。）を定める。

1 実施体制について

- (1) 校長を向の岡工業高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者とし、副校長、教頭及び事務長はこれを補佐する。
- (2) 総括教諭は、校長、副校長及び教頭を補佐し、事務長を補助する。
- (3) 不祥事防止会議は、プログラムの策定・実行・検証の中核として活動する。

2 目標及び行動計画

① 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）

目標

公務員としての自覚やモラルを高め、法令違反による公務内外の不祥事をゼロとする。

行動計画

- 服務等公務内の不祥事防止について周知・徹底する。
- 公務外非行防止に向けた啓発活動を行う。

② 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止

目標

人権意識を高めるとともに、パワハラ等に対する理解を深め、未然に防ぐ。

行動計画

- 教育委員会不祥事防止職員啓発資料等を活用し、職員の意識啓発を図る。
- 挨拶励行、所属の相談体制周知などにより、風通しの良い職場づくりを進める。

③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止

目標

教育公務員としての自覚を一層高め、生徒の人権に配慮した適切な行動をとることでわいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。

行動計画

- 人権感覚を磨くため、教育委員会不祥事防止職員啓発資料等を活用する。
- SNS の利用禁止を徹底し、適切な連絡方法について、生徒・職員に周知徹底する。

④ 体罰、不適切な指導の防止

目標

職員間の連携を緊密にし、指導体制を整え、体罰や不適切指導をゼロとする。

行動計画

- 人権や生徒への影響を配慮した生徒指導を行うよう、啓発活動に取り組む。
- 生徒に対し、不適切な行為を受けたときの相談体制を周知し、組織的な対応を図る。

⑤入学者選抜業務における事故防止

目標

選抜方法の理解を徹底し、入学者選抜業務における事故をゼロにする。

行動計画

- 業務マニュアル及び各種規定を周知徹底するため、校内研修を実施する。
- 願書、調査書、答案、その他資料について、受領、作成、廃棄までの管理を徹底する。

⑥ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

目標

成績処理、出願書類作成に係る業務を適切に行い、事故をゼロにする。

行動計画

- 成績処理に係る業務マニュアルの遵守を徹底し、計画的に業務を遂行する。
- 出願書類の管理、点検体制を整え、全職員に周知徹底する。

⑦ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）

目標

個人情報の適切な取扱いと情報の漏えいでの不祥事をゼロとする。

行動計画

- 対策重要度 I の情報を適切に管理する。
- 個人情報の取得や校外持ち出しの際のルールを徹底する。
- 個人情報の誤廃棄、紛失、漏えい等のリスクについて、注意喚起を継続する。

⑧ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

目標

交通事故及び飲酒運転をゼロとする。

行動計画

- 様々な機会に具体事例により安全運転を呼びかけ、交通法規遵守の意識を高める。
- 事故発生時の報告・対応等を適切かつ迅速に行う。

⑨ 財務事務等の適正執行

目標

経理における適正な執行と処理を行い、備品の点検を徹底し、不祥事をゼロとする。

行動計画

- 会計監査、財務事務調査の結果を基に、改善策を全員で共有する。
- 各教科やグループで、備品台帳をもとに備品の現物照合を確実に行う。

3 検証・評価

2の「目標及び行動計画」の実施について、次のとおり検証・評価を行い、保護者・学校運営協議員から意見を聴取する。

中間検証・評価の実施時期	令和3年10月末
最終検証・評価の実施時期	令和4年3月末

4 総括・報告等

作成した不祥事ゼロプログラム及び同プログラムの検証結果については、本校の公式ホームページで公表する。不祥事ゼロプログラムについては6月末までに、同プログラムの検証結果については、翌年度4月上旬までに公表する。

5 次年度計画の策定

令和3年度不祥事ゼロプログラムの最終評価を踏まえて、令和4年度不祥事ゼロプログラムを策定する。